

計画検討委員会 検討資料

(県民意見への対応)
【公共交通の役割・取組について】

平成28年4月27日
沖縄県

1 県民意見の概要

1 公共交通の役割

1-1 圏域間連携の強化

北部と中南部間のアクセス向上による圏域間の連携強化が求められており、那覇一名護を1時間又はそれより早く結んでほしいとする意見がある一方で、那覇一名護を1時間で結ぶ必要性について疑問があるとする意見もあります。

1-2 移動利便性の向上・交通の円滑化

定時性や快適性等が確保され、交通弱者を含めた県民や観光客等が移動しやすいすみずみまで行き届いた公共交通が求められています。その他、移動の選択肢拡大を求める意見や、スピードについては、速達性を求める意見がある一方で、ゆっくりとした移動を求める意見があります。

1-3 交通渋滞緩和

自動車利用の減少による早期の渋滞緩和、二酸化炭素排出量の削減、交通事故の減少等が求められている一方で、車社会からの脱却は難しい、鉄軌道等を整備しても利用しないのではないかという意見もあります。

1-4 その他意見

持続可能性の観点から、採算性を考慮した公共交通が求められています。

2 公共交通に関する取組

2-1 既に取組がはじまっているもの（公共交通への利用転換等に向けた取組）

①過度な自家用車利用から公共交通への利用転換

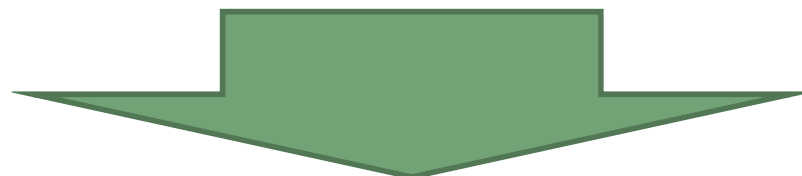
自家用車利用から公共交通への利用転換が求められており、利用促進に向けて、料金の低減化、安全の確保、公共交通利用者及び交通事業者のマナーの改善等の取組が求められています。

②人間優先のまちづくり（徒歩と公共交通等で移動できるまちづくり）

バス停の上屋整備等バスの利用環境改善と併せて、自転車が走りやすい・歩行者等が歩きやすい道路整備、駅周辺への駐車場や駐輪場の整備、駅と一体となった再開発などが求められています。

2-2 今後、具体的な検討が求められるもの

鉄軌道の早期整備やフィーダー交通を含めた公共交通ネットワークの構築が求められている一方で、人口減少や事業規模の観点などから鉄軌道の必要性について疑問視する、道路整備を充実することで対応できるとする意見が寄せられています。



2 県民意見への対応

【公共交通に求められる役割】

- ・ 県民意見を踏まえ、「持続可能性の観点から、採算性（利用促進含む）を考慮した持続可能な公共交通」を、新たに「役割を果たすために必要な視点」として追加する。（次頁のとおり）

【公共交通に求められる取組】

- ・ 過度な自家用車利用から公共交通への利用転換、人間優先のまちづくりに関する県民意見は、今後、市町村や関係機関と情報共有を図っていく。
- ・ 鉄軌道及びフィーダー交通ネットワークの構築については、本計画案検討の中で、引き続き検討を進めていく。

【将来の姿の実現等に求められる公共交通の役割・取組（県民意見反映後）】

